

第2回

# 物流を支える パートナーシップセミナー

トラック運送業界は、「物流」の主役とも言え国民生活、経済を支える社会インフラである。しかし、慢性的なドライバー不足に加え、燃料価格等の高止まりにカーボンニュートラルへの取組など物流コストの増加により、経営環境の厳しさが増大している。

2030年には、約3割の荷物が運べなくなるといった試算もあり、物流の停滞が懸念されていることから、荷主企業、物流事業者、一般消費者の理解と協力により「物流」を取り巻く諸問題を解決し、継続的に安全で正確な物流を支え、物流の継続的な成長を推進するために本セミナーを開催する。

聴講者

荷主企業、運送事業者、  
一般消費者

約200名

聴講  
無料

日時

2025年 **11月18日** 火

会場

ホテルグランヴィア岡山  
4階 フェニックス

受付 12:30-13:30 講演 13:30-16:00

場所 岡山県岡山市北区駅元町1-5

約10分

『岡山のトラック・物流  
Gメンの活動について』

講師

中国運輸局 岡山運輸支局  
運輸企画専門官(トラック・物流Gメン)  
高坂 亮太 (こうさか りょうた)様

第2部

約90分

『これからのトラック輸送』

講師

京都大学大学院工学研究科(都市社会工学)  
教授 藤井 聡 (ふじい さとし)様

第1部 約30分

『改正下請法について』

講師

公正取引委員会事務総局  
近畿中国四国事務所中国支所 下請課

近藤 滉介

(こんどう こうすけ)様

プロフィール

藤井 聡 (ふじい さとし)氏



京都大学大学院工学研究科(都市社会工学)教授、1968年奈良県生駒市生。京都大学卒業後、スウェーデンイエテボリ大学客員研究員、東京工業大学教授等を経て2009年より現職。2012年から2018年まで安倍内閣内閣官房参与(防災減災ニューディール担当)。専門は公共政策論。著書「スーパー新幹線が日本を救う」「新幹線とナショナリズム」「プライマリーバランス亡国論」「国土学」「凡庸という悪魔」「大衆社会の処方箋」等多数。日本学術振興会賞等受賞多数。東京MXテレビ「東京ホンマもん教室」、朝日放送「正義のミカタ」、KBS京都「藤井聡のあるがままラジオ」等にて解説。表現者クライテリオン編集長。

主催／一般社団法人岡山県トラック協会、物流問題政策研究会

後援／岡山県、岡山労働局、中国運輸局、中国運輸局岡山運輸支局、中国経済産業局、中国四国農政局、山陽新聞社